

緑と市民ネットワークの会



議会報告ニュース

[第10号]

秋
冬
2017
号

公式サイト <http://midoritonet.info>

発行: 緑と市民ネットワークの会 / 〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市役所 議会棟13階 / TEL.092-711-4875 / FAX.092-733-5881

議会改革調査特別委員会

議会改革に向け～ 求む！市民の参加

議会改革調査特別委員会では、今年から「議会基本条例」についての議論が始まりました。議会基本条例とは、議会に関する基本的事項について定めた条例のことで、いわば議会の“憲法”とも言えるべき条例です。すでに全国の自治体の40%以上、政令市に限ると80%(20政令市のうち16市)が基本条例を制定していますが、福岡市議会にはまだありません。議会と市長が対等に対峙するためにも、議会を市民の皆さんに役立つものに変えていくためにも、基本条例が必要です。

問題は、条例の内容です。特別委員会では12月と1月にこの分野に詳しい有識者を「参考人」としてお招きし、議論することになりました。今回はいつもより傍聴席を増やし、50席用意しています。議会改革のためには多くの市民の傍聴が必要です。ぜひご参加ください。

① 2017年 **12月1日(金)** 14時～16時

[参考人] **金井利之**さん(東京大学教授)

② 2018年 **1月15日(月)** 14時～16時

[参考人] **廣瀬克哉**さん(法政大学教授)

※傍聴の手続きは、「市役所8階の議会事務局」まで

9月議会／意見書案の賛否

	自 民	公 明	市 民 連 合	共 産	み ら い	維 新	自 民 新	緑 と ネ ット	(無 所 属 新 村)	(無 所 属 天 野)	(無 所 属 橋 田)	(無 所 属 川 口)	結 果
九州北部豪雨災害への支援強化を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	→可決
看護職員の勤務環境改善を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	→可決
道路整備事業の補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書案	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	→可決
小中学校におけるプログラミング教育の必修化に対する支援を求める意見書案	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	→可決
核兵器禁止条約の締結を求める意見書案	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	→否決

広報委員会 視察調査

福岡市議会も ネット中継を！

—遅れる福岡市議会—

10月30日から31日にかけて、議会の広報について調査するため、既にインターネット中継を行っている京都市議会と神戸市議会へ視察に行きました。

議会改革調査特別委員会において「本会議だけでなく、常任委員会もインターネット中継すべき」という議論がありました。「時間が長くなる」「売名行為につながる」「発言時間を制限すべき」などと言って中継に反対する会派がありましたが、既に中継を行なっている両議会で、問題は起こっていません。平日昼間の議会を傍聴できる市民は限られています。福岡市議会でもネット中継を行うべきです。

また、両市とも「手話言語条例」を議員提案で制定し、手話通訳を行っており、この点でも福岡市議会は遅れています。そのほか議会だよりにおける広報のあり方(発言

議員名の記載)、SNSでの発信の仕方、政務活動費の公開のあり方など、今回の視察調査の結果を参考に、もっと市民に開かれた議会となるよう努めてまいります。

◆奪いあう社会から分かちあう社会へ 緑の党グリーンズジャパン

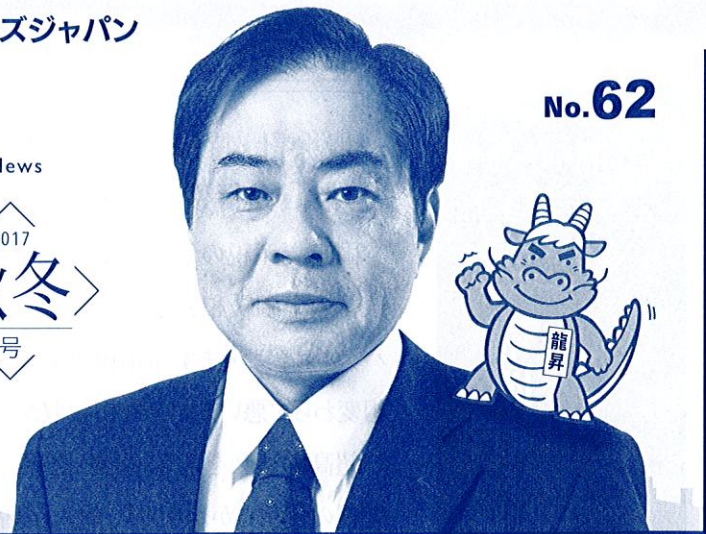
あらき ニュース

Ryusho Araki News

2017
〈秋冬〉
号

緑の党
グリーンズジャパン

発行: 福岡市議会議員 荒木龍昇
〒814-0033 福岡市早良区有田5-17-7
TEL.092-862-8980 / FAX.092-862-8985
メール f-lopas@hf.rim.or.jp



No.62



[p2] 福岡市2016年度決算 / [p2] 9月議会の主な議案 / [p4] 議会改革調査特別委員会 ほか

住宅セーフティネット法

安価で良質な 住宅が借りやすくなります！

これまで住宅を借りるのが困難だった方や世帯(住宅確保要配慮者)一たとえば、高齢者、障がい者、子育て世代、被災世帯、低所得者、外国人世帯など一に対して、安価で良質な住宅の提供を進めることを目的とし、今年3月に「住宅セーフティネット法」が改正され、10月25日から施行されました。福岡市でも9月議会に関連する条例改正がありました。

住宅確保要配慮者に住宅を貸し出すことに同意した賃貸住宅所有者に対して住宅の改修費用の補助が、また、低所得者の負担軽減として家賃の補助(国費上限2万円/月/戸)や入居時の家賃債務保証料の補助(国費上限3万円/戸)が、国および市から給付されます。

福岡市ではすでに不動産会社などと「居住支援協議会」を設置し、高齢者などの住宅の相談を受け、支援する体制ができていましたが、今回の改正によってこれまで以上に安価で良質な住宅を借りることができるようになります。

ご相談は、[福岡市住宅支援係: ☎092-711-4278]までお願いします。

ご存知ですか？

無料低額診療制度

無料低額診療制度とは、経済的理由により医療費の支払いが困難な方に対し、医療費の自己負担分の3割が無料ないし減額される制度です。ただし健康保険に加入していることが条件となっています。現在、福岡市内では、8つの医療機関で無料低額診療事業を実施しています。まずは、[早良区保健福祉センター(保護課): ☎092-833-4366]、もしくは[早良区社会福祉協議会: ☎092-832-7383]までお問い合わせください。

あらき龍昇 プロフィール

1952年生。生協へ就職後、産直運動や室見川の環境を守る活動、人工島問題などに取り組む。現在、4期目。市民の暮らしの安心のために税金を優先的に使い、市民が納得・共感できる市政をめざす。各校区で市政報告会を続けている。



「市政報告会」開催の様子

一人でも多くの方へ 配布のお手伝いを 募集しています

この議会報告のニュースは市民の皆さまの税金で(政務活動費で)発行しており、一人でも多くの方へ、ご報告をお届けしたいと考えております。配布のボランティアをしていただける方は、事務所までご連絡ください。

皆さまの声が届く議会づくりを目指しています。

- ・ぜひ、市政に関するご意見や、日頃の生活の中でお気づきのことなどお聞かせください。
- ・2017年の議会報告書(無料)を希望される方は、ご連絡ください。視察調査の報告もすべて掲載しています。

あらき事務所

☎092-862-8980

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —



あらき龍昇
公式ウェブサイト

<http://www.araki-jp.com/>

街の声を
市政へ!

市民目線で政策提案!!



一般質問 あらき龍昇 議員

【9月議会】

◆市営住宅で起こった問題 再発防止を!

ある市営団地の自治会の方から、不法にバイクを持ち込むグループが夜間に騒ぎ、注意すると脅しや嫌がらせを受けるという状況が10年間も続いているという相談を受けました。住民の方たちは住宅供給公社に対策を求めていましたが、解決できずにいました。最近ようやく解決に向かうことができましたが、市営住宅は市が管理する施設であり、改めて議会で質問することで、市にも事態の重大性を認識してもらうとともに、再発防止を求めました。

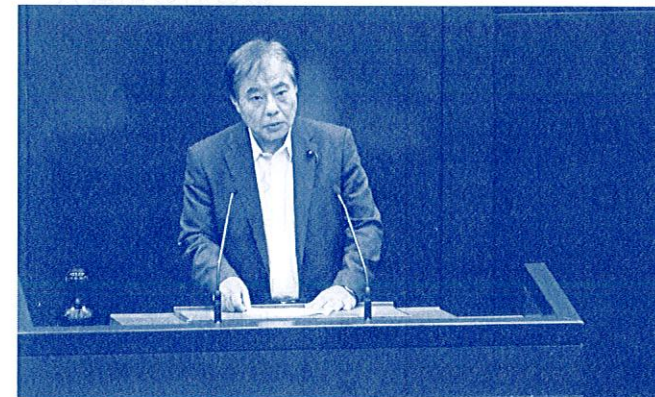
◆学ぶ権利を守る、夜間中学校の設置を!

市民から夜間中学校の設置についての請願があり、6月末に視察調査した京都市の事例も参考にして、福岡市でも設置すべきと提案しました。国は2016年12月に「教育機会確保法」を制定し、文科省も全国の都道府県に最低1校は設置することを求めています。不就学者は福岡市に1847人、福岡都市圏では2579人おり(2010年国勢調査)、周辺自治体と連携しながら設置を検討すべきと考えます。

【決算特別委員会】

◆こども総合相談センター 「えがお館」の体制強化を!

虐待防止や不登校対策のためには、児童心理司や臨床心理士、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなどの専門職の体制強化が必要です。現状は非常勤職員が多く、人数も足りていません。正規職員として配置し、人員を増やすべきだと提案しました。



一般質問 森あや子 議員

【9月議会】

◆化学物質を扱う公共工事から健康を守る!

化学物質を扱う公共工事は細心の注意が必要であり、発注者である市は、全庁的に情報共有し、リスク回避の意識を高めることが求められています。福岡市公共工事安全推進計画に化学物質の観点を盛り込むとともに、事故対応マニュアルの策定など、市民の生命と健康を守るシステム構築を急ぐべきだと提案しました。

【決算特別委員会】

◆公共工事における技術職の育成を!

市民生活の基盤となるインフラ整備は、暮らしに直結した重要な自治体の役割です。近年は老朽化した配水管の更新や耐震化の整備も急がれます。昨年11月の博多駅前道路陥没のような事故を繰り返さないよう、官・民・学が協力し、技術者の確保や育成、技術の確実な継承を行えるよう、各局が連携し横断的に取り組んでいくことを求めました。

◆原発事故対策の充実を!

福岡市は玄海原発から37km~60kmに位置します。福岡市民だけでなく、近隣から通勤・通学している方や観光客なども含めて、安全と健康を守る責任があります。すでに原発事故を想定した避難訓練の実施や、放射能被害を防ぐための安定ヨウ素剤(40万人分強)の備蓄をしてはいますが、安定ヨウ素剤の備蓄数の増加や事前配布を含めて、原発事故に対する対策の充実と、原発に頼らない持続可能な社会への転換を訴えました。

2016年度
決算

福岡市

経済の実態と

今後の課題

一般会計・特別会計・企業会計、いずれも黒字。財政健全化の指標も改善し、市債発行残高(借金)も削減、財政健全化は進んでいます。しかし…

固定資産税の増加が主たる要因となり、市税の収入は増加しています。しかしこれは、日本銀行の金融緩和政策による資金が不動産投資に流れているためです。そして、いずれ不動産バブルは終わります。福岡市の経済の実態は、市民の消費は伸びておらず、中小企業の景況感も相変わらず悪いまです。市税収が多少増えたとしても、今後、歳入の大幅な増加は見込めません。

超高齢社会を迎え、介護・医療の費用や扶助費は増え続け、公共施設や道路下水道の維持管理の費用もかかります。歳入が増えないため、政策的に自由に使える予算は限られています。今まで以上に、どこに優先的に税金を使うのかが問われています。

〈切り捨てられる 市民サービス〉

厳しい財政状況が続くなか、行財政改革として113項目の具体的削減目標を立て、市民サービスの切り捨てを行ってきました。一方、市民負担で生み出した資金を、企業誘致や人工島の土地処分、天神ビッグバンや中央埠頭の再開発に優先的に投資しています。その結果、大企業は利益を得ていますが市民は恩恵を受けていません。安心安全のための地道な取り組みに力を入れ、介護、子育て、教育、障がい者支援、若者支援など、市民の暮らしに優先的に投資すべきです。また、大企業優先ではなく、地場中小企業の支援にもっと力を注ぐべきです。人を大事に育てることが、このまちを発展させます。

福祉の増進を図るという地方自治の本旨に則って、税金を使うべきと考えます。

9月議会 主な議案への賛否と主張

— 緑とネットは23議案中、
20議案に賛成、3議案に反対 —

マイナンバーシステム改修の補正予算〈議案197号〉

【賛否】反対▶【結果】可決

希望者に対して住民票等に旧姓を表記し、諸手続きを簡素化するというシステム改修の補正予算です。しかし本質的な解決は、夫婦別姓の選択ができる法改正をすることだと考えます。システムの改修は小手先の対策にすぎません。

人工島接続道路(都市高速道路延伸)の補正予算〈議案197号〉

【賛否】反対▶【結果】可決

都市高速道路からこども病院側へ直接乗り入れる道路を建設する計画ですが、私たちはこの建設自体に最初から反対してきました。この建設による時短効果はわずか7分。292億円もの税金を投じる必要はありません。

立地交付金の補正予算〈議案197号・議案199号〉

【賛否】反対▶【結果】可決

費用対効果が極めて低く、適切な税金の使い道とは言えません。これまで立地交付金274億円のうち229億円が人工島の土地処分のために使われています。しかし交付事業所からの税収は累計で20億円しかなく、交付事業所の2割強がすでに撤退、平成28年度までに9,208人の雇用が増えているものの62.5%が非正規雇用、というのが実態です。

建築関係手数料の一部改正〈議案203号〉

【賛否】賛成▶【結果】可決

住宅確保の配慮が必要な方に対して賃貸住宅の提供を促進していくため、10月25日から施行された「住宅セーフティネット法」に伴う条例改正でした。住宅改修費の補助や家賃の補助などを国や市から受けることができるようになります。私たちは賛成したうえで、地域包括ケアシステムと連携させること、支援メニューを充実させること、低所得世帯への住宅費の負担軽減策を充実させること、市民および賃貸住宅所有者に本施策を周知すべきことなどを提案しました。